

# 北見市における景気動向調査報告書

< 第 I 四半期 >

北見商工会議所

## I. 調査要領

### 1. 調査時点及び調査対象期間

(1) 調査時点 平成23年7月22日

(2) 調査対象期間 平成23年4月～6月期実績および平成23年7月～9月期見通しについて調査した。

### 2. 調査対象

北見市に所在する企業を対象に、製造業、建設業、卸売業、小売業、サービス業の5業種150社を往復ハガキにより調査した。

### 3. 回収状況

業種	企業数	対象企業数	回答企業数	回答率
製造業		30社	24社	80.0%
建設業		30社	27社	90.0%
卸売業		30社	21社	70.0%
小売業		35社	22社	62.9%
サービス業		25社	19社	76.0%
合計		150社	113社	75.3%

注) 本調査結果の中で、D・I値とある記号は、デフュージョン・インデックス(景気動向指数)で好転企業割合から悪化企業割合を差し引いた値を示す

## Ⅱ．概 況

### 《 全 体 の 動 き 》

平成23年度第I四半期<4月～6月>の北見市における業況は、前年比で「好転企業」22.3、「悪化企業」44.7、「好転」から「悪化」を差し引いたD・I値は△22.4となっています。このD・I値を、前年同期（△27.5）と比較してみると5.1ポイントの回復傾向を示しています。また前期調査<22年度第IV四半期>との比較では、前回△35.2→今回△22.4と12.8ポイントの好転傾向を示しました。

今回の業況を業種別で見ると、製造業D・I値4.2、建設業D・I値11.5、卸売業D・I値△4.7、小売業D・I値△68.1、サービス業D・I値△68.4となっており、前年同期調査と比較すると、建設業で73.4ポイント、製造業で26.9ポイント、卸売業で15.3ポイントの大幅な好転を示しました。この大幅な好転の要因は、自然災害からの復旧による特需や、公共工事の増加によるものと考えられます。一方で、小売業で33.4ポイント、サービス業で15.0ポイントの大幅な悪化を示し、この要因は東日本大震災等の影響による自動車販売の業績悪化、宿泊客の減少などが考えられます。

また、来期の見通しを全業種で見ると「好転企業」8.9%「悪化企業」48.2%でD・I値△39.3と、前年同期見通し（△39.5）に比べ0.2ポイント回復とほぼ横ばいで推移しており、未だ予断を許さない来期見通しとなっています。

### 《 業 種 別 の 動 き 》

#### 1) 製 造 業

##### 生産高

前年比で「増加企業」37.5%、「減少企業」33.3%、D・I値4.2と前年同期に比べ26.9ポイントの回復傾向を示し、D・I値がマイナスからプラスに転じる結果となりました。

##### 採 算

前年比で「好転企業」25.0%、「悪化企業」33.3%、D・I値△8.3と、前年同期に比べ28.1ポイントの回復傾向を示しています。

##### 来期見通し

業況D・I値△33.4、生産高D・I値△33.3、資金繰りD・I値△37.5と、業況が若干好転している他は悪化傾向にあり、依然先行きの見えない来期見通しとなっています。

#### 2) 建 設 業

##### 完成工事高

前年比で「増加企業」40.8%、「減少企業」33.3%、D・I値7.5と前年同期に比べ69.4ポイントの大幅な好転傾向を示しています。

##### 採 算

前年比で「好転企業」14.8%、「悪化企業」29.6%、D・I値△14.8と前年同期に比べて47.1ポイントの大幅な好転を示していますが、悪化企業値は未だにマイナスの状況となっています。

来期見通し

業況D・I値△25.9、完成工事高D・I値△7.4、資金繰りD・I値△25.9と依然マイナス値ではあるものの、前年同期の高いマイナス値から改善を示しました。

### 3) 卸売業

売上高

前年比で「増加企業」28.6%、「減少企業」52.4%、D・I値△23.8と前年同期と比べ27.8ポイントの悪化となり、D・I値がプラスからマイナスに転じる結果となりました。

採算

前期比で「好転企業」28.6%、「悪化企業」33.3%、D・I値△4.7と前年同期に比べ4.7ポイント悪化傾向を示しています。

来期見通し

業況D・I値△28.6、売上高D・I値△28.6、資金繰りD・I値△4.8と、前年同期と比べ資金繰りで改善しているものの、他は悪化傾向を示しました。

### 4) 小売業

売上高

前年比で「増加企業」4.5%「減少企業」77.3%、D・I値△72.8と前年同期に比べ45.9ポイント大幅な悪化傾向を示しました。

採算

前年比で「好転企業」4.6%「悪化企業」72.7%、D・I値△68.1と前年同期に比べ41.2ポイントの大幅な悪化傾向を示しました。

来期見通し

業況D・I値△50.1、売上高D・I値△40.9、資金繰りD・I値△40.9と前年同期と比べ全てが悪化を示し、非常に厳しい来期見通しとなっています。

### 5) サービス業

売上高

前年比で「増加企業」0.0%、「減少企業」68.4%、D・I値△68.4と前年同期に比べ21.7ポイント悪化を示しました。

採算

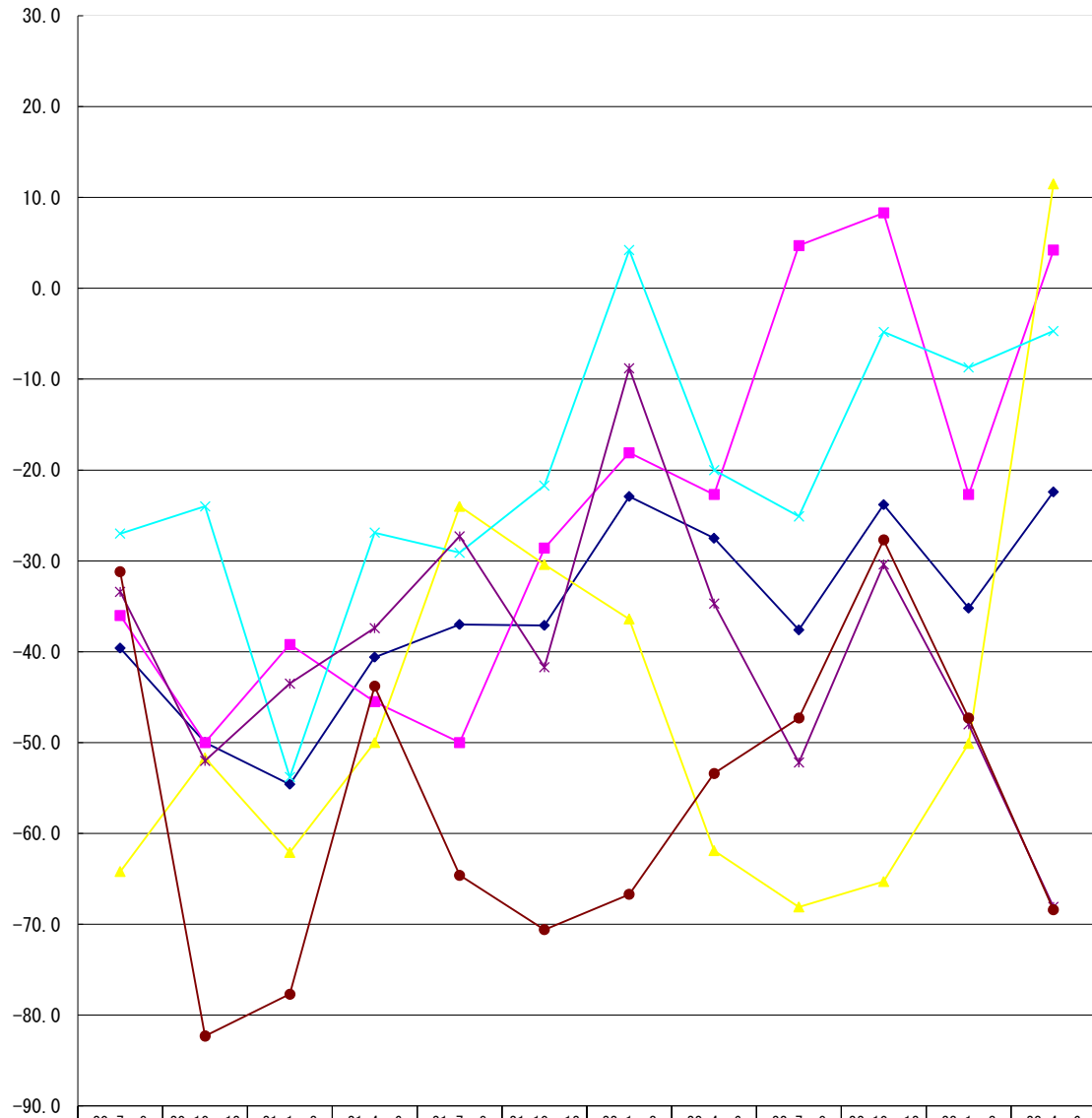
前年比で「好転企業」0.0%、「悪化企業」78.9%、D・I値△78.9と前年同期に比べ25.6ポイントの悪化傾向を示し、非常に高いマイナス値となりました。

来期見通し

業況D・I値△66.6、売上高D・I値△55.6、資金繰りD・I値△61.1と、前年同期に比べ業況で横ばい、売上高で4.5ポイント好転となった一方で、資金繰りは27.7ポイント悪化となりました。

## 業況（前年同期比）

◆ 全業種   
 ■ 製造業   
 ▲ 建設業   
 × 卸売業   
 ✕ 小売業   
 ● サービス業



	20.7~9 20年度II	20.10~12 20年度III	21.1~3 20年度IV	21.4~6 21年度I	21.7~9 21年度II	21.10~12 21年度III	22.1~3 21年度IV	22.4~6 22年度I	22.7~9 22年度II	22.10~12 22年度III	23.1~3 22年度IV	23.4~6 23年度I
◆ 全業種	-39.6	-50.0	-54.6	-40.6	-37.0	-37.1	-22.9	-27.5	-37.6	-23.8	-35.2	-22.4
■ 製造業	-36.0	-50.0	-39.2	-45.5	-50.0	-28.6	-18.1	-22.7	4.7	8.3	-22.7	4.2
▲ 建設業	-64.2	-51.7	-62.1	-50.0	-24.0	-30.4	-36.4	-61.9	-68.1	-65.3	-50.1	11.5
×	-27.0	-24.0	-53.8	-26.9	-29.1	-21.7	4.2	-20.0	-25.1	-4.8	-8.7	-4.7
✕ 小売業	-33.4	-52.0	-43.5	-37.4	-27.3	-41.7	-8.8	-34.7	-52.2	-30.4	-48.0	-68.1
● サービス業	-31.2	-82.3	-77.7	-43.8	-64.6	-70.6	-66.7	-53.4	-47.3	-27.7	-47.3	-68.4

## 業 種 別 経 営 上 の 問 題 点

	1 位	2 位	3 位	4 位	5 位
製 造 業	諸 経 費 増	得 意 先 減 少	同業者間の競合	人 件 費 増	人 材 不 足
建 設 業	得 意 先 減 少	諸 経 費 増	同業者間の競合	人 件 費 増	人 材 不 足
卸 売 業	得 意 先 減 少	同業者間の競合	諸 経 費 増	人 材 不 足	売掛金回収難
小 売 業	同業者間の競合	得 意 先 減 少	諸 経 費 増	売掛金回収難	人 材 不 足
サービス業	諸 経 費 増	得 意 先 減 少	同業者間の競合	人 件 費 増	人 材 不 足
合 計	得 意 先 減 少	同業者間の競合	諸 経 費 増	人 材 不 足	人 件 費 増

※ 問題点は、各業種とも3つ選択。

- 前年同期と比較すると全体的に「諸経費増」が増加しており、製造業、サービス業で最も多い回答となった。前年同期調査時に製造業を除く全業種で1位であった「得意先減少」は今回調査でも回答が多く、全業種で1位、2位に入る結果となった。また、全体合計の順位は同様となっており、特に上位の「得意先減少」「同業者間の競合」については慢性化した経営課題になっていることが伺える。

### ※その他及び具体的な問題点の記載事項

(製造) ○低価格の固定化のため、人材育成の投資ができない。(建設用金属製品)

(建設) ○税制動向の先行き不安(一般住宅建築)

○公共事業の削減(土木)

○材料値上がりを施工単価に転嫁できない(板金)

(卸売) ○受注減少(建築資材)

(小売) ○商品不足(家電)

○売上減少(生鮮食品)

(サービス業)

○新規事業の具体化(IT)

## 業況

重複回答を特記すると、建設業は土木・建築、電気、管土木が悪化。卸売業は事務用品好転。サービス業はクリーニング業の悪化が続いている。

- 製造業 ⇒ 好転 (木製建具、菓子、食肉加工、松製材、印刷、農業機械金属用製品、農業用機械)  
悪化 (なし)
- 建設業 ⇒ 好転 (建築、舗装・一般土木、一般住宅建築、板金、一般土木・給排水・冷暖房)  
悪化 (重複該当なし、土木建築、塗装)
- 卸売業 ⇒ 好転 (重複該当なし、米穀、製菓原材料機器、製材、家電)  
悪化 (なし)
- 小売業 ⇒ 好転 (重複該当なし、家電)  
悪化 (自動車、農業機器、時計・貴金属・宝石、米穀、生鮮食品)
- サービス業 ⇒ 好転 (なし)  
悪化 (ホテル (宿泊)、飲食、ホテル (宴会・宿泊)、ビルメンテナンス、  
クリーニング、建物清掃、理容、理美容、自動車賃貸)